

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニッパツフレックス株式会社					
代表者名	氏名	高村 典利	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県伊那市西箕輪 2445-5					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車用コントロールケーブル及び自動車用ばね製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,036	2,282	2,303	1,780	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,768	4,226	4,287	3,312	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	5		5	5	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	3				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2020	年度	計画期間	2021	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

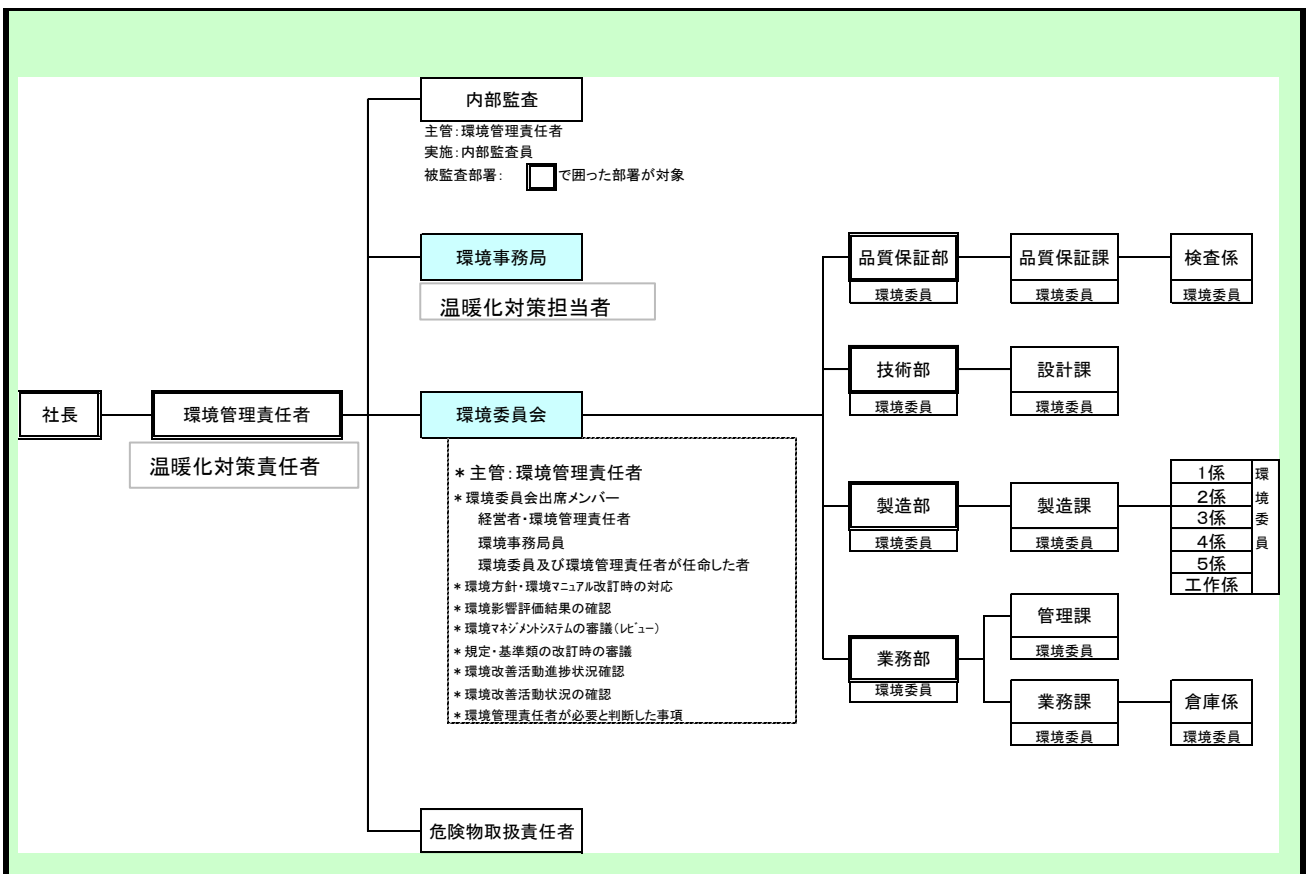
<input type="checkbox"/>	ホームページ	[1] 閲覧可能な場所：ニッパツフレックス(株) [2] 時間：9:00～17:00 [3] 担当部署：管理課 [4] 連絡先：0265-76-3280
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

1. 資源の有効利用の可能性を追求し、省資源、リサイクルに徹底して取組みます。
2. 生産活動において、省エネルギーとゼロエミッションを目指し、省資源化と廃棄物削減活動を推進します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

会議体 : CN環境委員会

開催頻度 : 1回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,768	t-CO ₂	生産数量	79.25	単位	百万個
2020年度	調整後排出量	3,768	t-CO ₂	基準原単位	47.55	t-CO ₂ /	百万個
目標年度	目標排出量	4,226	t-CO ₂	目標原単位	46.60	t-CO ₂ /	百万個
2022年度	目標削減率	-12.16	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	<p>二工場で扱う製品が異なり、工場毎に原単位が異なる。目標設定として各工場の原単位を年率1%削減とした。 また、目標排出量は予算計画に基づき、基準年度の生産数量から算出した。</p>						
第一年度	排出量	4,287	t-CO ₂	生産数量	83.16	単位	百万個
	削減率	-13.78	%	原単位	51.55	t-CO ₂ /	百万個
2021年度	調整後排出量	4,287	t-CO ₂	原単位削減率	-8.42	%	
	削減率	-13.78	%				
排出量等の増減理由	<p>生産構成の変動が主要因と考えられます。 当社は、大別して2つの品種の製品を生産しており、2つの品種の原単位が異なります。原単位の高い製品について△1%以上達成しましたが、生産比率約4割から約5割に増えたことより、会社全単位としては原単位が上がってしまいました。 (注) 第1年度報告の基準年度の生産数量を誤記訂正(旧:87.7→79.25)</p>						
第二年度	排出量	3,312	t-CO ₂	生産数量	61.18	単位	百万個
	削減率	12.10	%	原単位	54.14	t-CO ₂ /	百万個
2022年度	調整後排出量	3,312	t-CO ₂	原単位削減率	-13.86	%	
	削減率	12.10	%				
排出量等の増減理由	<p>コロナ、半導体不足による客先生産減少に伴い、当社が生産している製品も減産となった。 そのため、トータルエネルギー量は減少したが、原単位としては増加する結果となった。</p>						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産数量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3	t-CO ₂			単位	
2020年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
—年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320301	電気炉の入り口面積縮小による電力量削減	2021	48	2021	6
2	エネ起	380752	照明設備のLED化	2021～2022	2.3	2021	0
3	エネ起	329999	ダクト設備 稼働台数削減	2021～2022	5.6	2021	2.8
4	エネ起	380799	事務所の統合	2021	1	2021	1
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光パネル	KW	30	0	30	30	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,768	1	4,287	1	3,312		
1,500k1未満								
合計	1	3,768	1	4,287	1	3,312		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	2	
合計	2	2	2	0
自動車総数	5	5	5	
次世代車導入割合	40	40	40	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2005年度
	名称	ISO14001 (2015年度版に更新済)	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄